

2013 年度 研修会報告

	時	テーマ	講師	参加会員数
第 1 回	9 月 28 日	初級レベルの授業の組み立て方	吉田聖子氏	11 名
第 2 回	10 月 26 日	初中級レベルの文法の教え方	友松悦子氏	19 名
第 3 回	11 月 30 日	教科書の選択と活用について	望月敏子さん	15 名



★以下は、望月敏子さん（第 3 回講師、本会相談役）からのメッセージです。当日参加できなかった方も、教科書について考えてみてください。

・ ・ 講師よりヒトコト ・ ・ 教科書の選択と活用について

- * あなたは今使っている教科書に満足していますか
- * どんな教科書が望まれ、どのように活用したらよいのでしょうか
- * こんな言葉、どう思いますか

- ★ 教科書 を 教えるのではなく、教科書 で 教えるのだ
- ★ 学習者個人にとって、100パーセントの教科書はない
- ★ 人と人をつなぎ、「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書

☆ 今年の7月に「みんなの日本語」を発行しているスリーエーネットワークの40周年記念行事がおこなわれ、テーマは『教える』と『学ぶ』をつなぐ—教科書のこれから—でした。平高史也慶応義塾大学教授は、その報告の中で、「日本語教科書の過去、現在、未来を通して「教える」こと、「学ぶ」ことをふりかえり、考える格好の場となりました」と書いています。

リクエストに応じてこのテーマを選びましたが、教科書について考えることは、日本語教育の学習環境、ひいては日本語教育そのものについてふりかえるよい機会になると思います。身近な教科書について私たちも共にふりかえりながら、もう一度日ごろの活動について考えてみませんか。

(写真：村松奈、記録：稲谷)